

東日本大震災から1年。
まだ多くの傷跡が残る福島地で、
挫折と困難を乗り越えて、
がれきの中から
力強く立ち上がった企業があった。
その名は「株式会社ナプロアース」。
「和」と「結」の精神に支えられた
企業の再興の物語が、今はじまる。

F311

フクシマ再興



武士道を道理として守り、リサイクルの道を究め
未来に渡って子供たちに夢を与える企業になる。



株式会社ナプロアース

〒960-0719 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地 63-1

TEL: 024-573-8091 FAX: 024-573-8092

<http://www.naproearth.co.jp/>

がんばろう日本!

アドマンガドットコムはナプロアース、そして東北の復興をマンガで応援しています。

アドマンガドットコム
アドマンガドットコム

ご挨拶

20世紀は大量生産と消費の時代でした。そのため地球そのものに負荷を与え、環境が壊れていく姿に心が痛みます。私達は廃車をきちんとして処理することにより、もう一度資源として生まれ変わらせ、これ以上地球環境が悪くならないようにする努めがあります。このすばらしい地球に感謝し、永遠に美しい状態を保ちたいと強く願うしだいで。

「もったいないから もったいあるへ」

この言葉を胸に、これからも業務に励んでまいります。

代表取締役 池本 篤



行きつけのバーで
水割り片手に
そう語る
池本 篤^{あつし}

二〇一一年三月十一日に起きた
東日本大震災。
震災後も被災地福島県を
離れることなく、この地で
自動車リサイクル業
(株)ナプロアースを営んでいる

An aerial, hand-drawn style illustration of a coastal town in Japan, likely Fukushima, after a major disaster. The town is densely packed with houses, many of which are partially submerged in dark blue floodwater. Some houses are completely isolated on small islands of land. In the foreground, a large, winding path or road is also flooded. The overall scene conveys a sense of devastation and isolation.

F311

フクシマ再興

2011年 3月11日

眼前に
迫り来る
ドス黒い
海の壁

津波は人を
家を街を
全てを
容赦なく
飲み込んだ



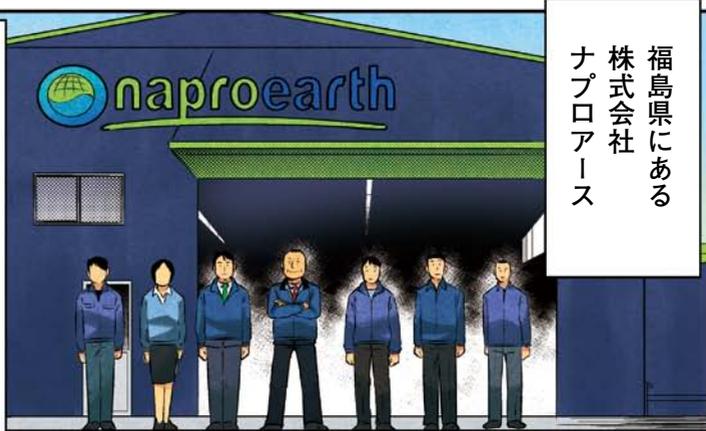
この未曾有の
自然災害は
被災者全ての
価値感・人生感を
変えた

池本もまた
その中の
一人だった



福島県にある
株式会社
ナプロアース

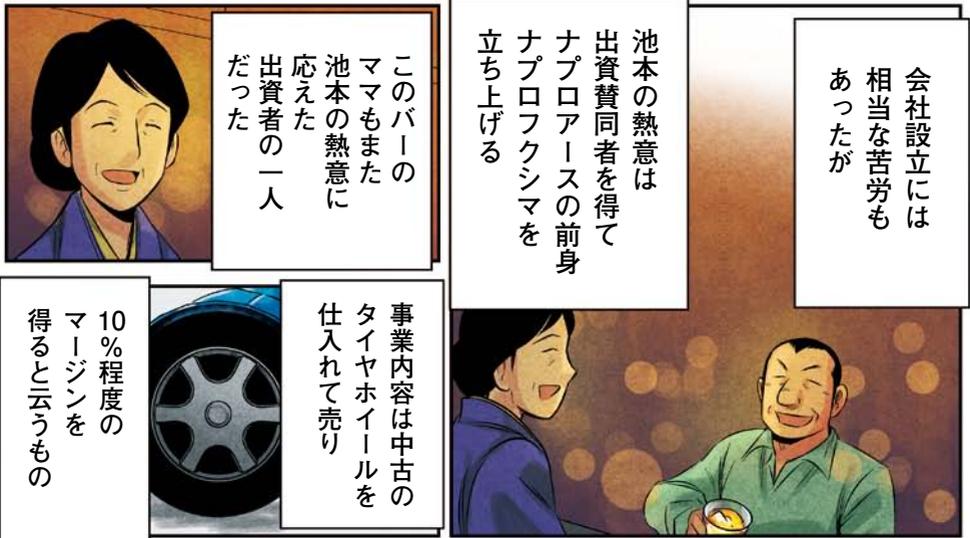
資本金1500万円
従業員数35名
主要業務
自動車中古部品販売
使用済自動車適正処理
自動車部品輸出



代表取締役社長
池本篤は
福島県の原町生まれの
原町育ち

生粋の
「福島人」で
ある





このバーのママもまた池本の熱意に応えた出資者の一人だった

池本の熱意は出資賛同者を得てナプロアースの前身ナプロフクシマを立ち上げる

会社設立には相当な苦労もあつたが

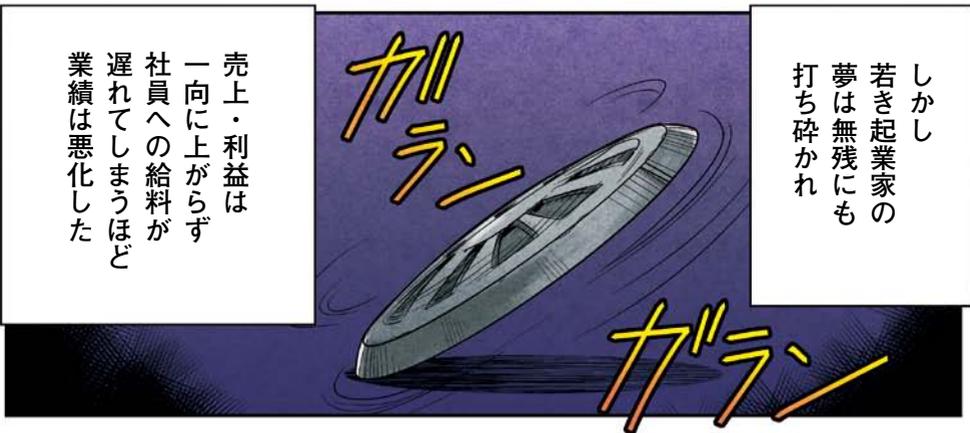
事業内容は中古のタイヤホイールを仕入れて売り

10%程度のマージンを得ると云うもの



前の会社で中古パーツを売るイベントを成功させた経験があつたもんでね

自信もあつたし辞めた会社を見返してやるって野心も満々でしたよ



しかし若き起業家の夢は無残にも打ち碎かれ

売上・利益は一向に上がらず社員への給料が遅れてしまうほど業績は悪化した



まあ云えばガキン頃からヤンチャしてましてね

高校も中退働きに出ても腰が落ち着かず職を転々

落ち着いた先が自動車部品販売会社でした



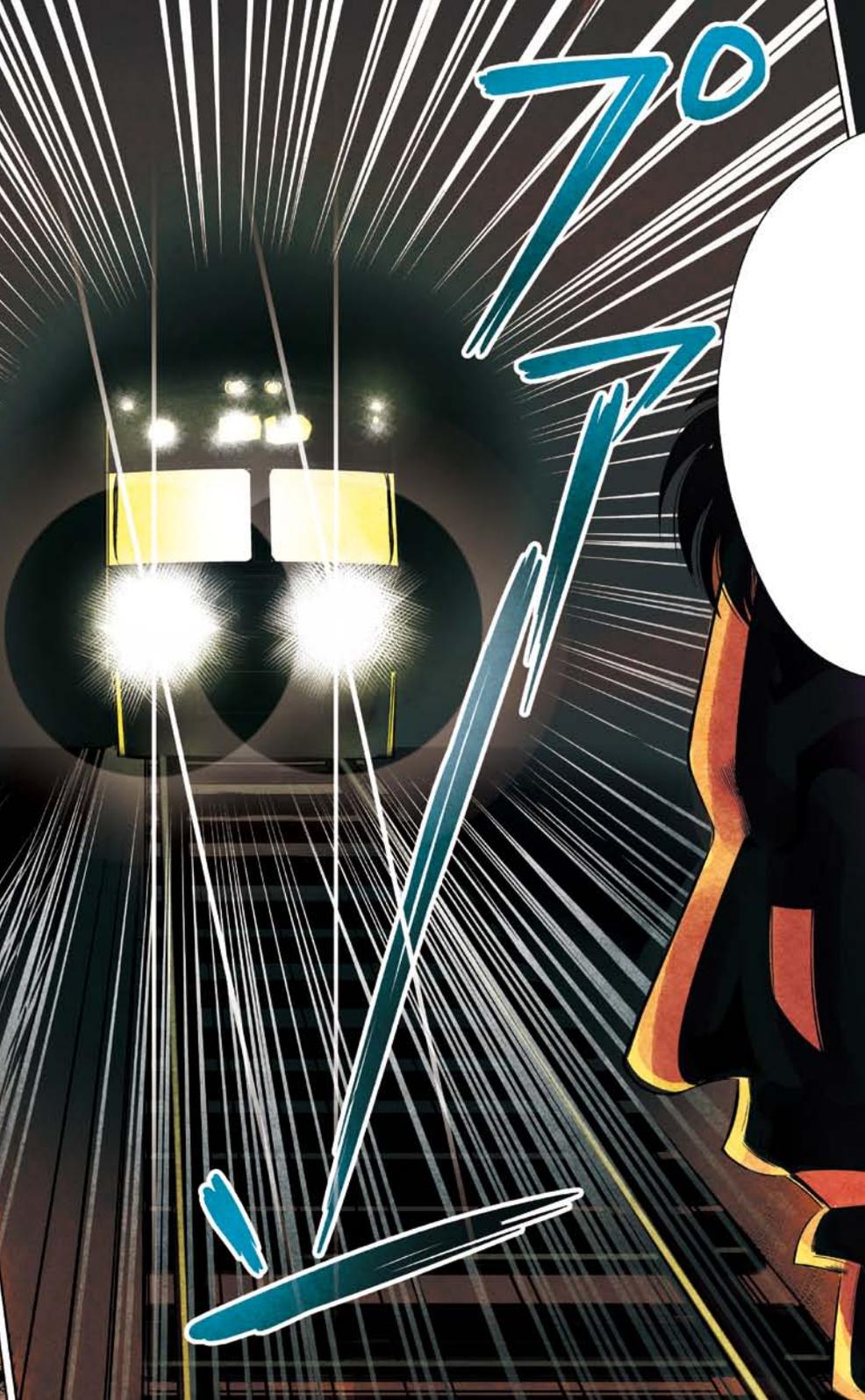
彼はその会社でトップセールスの営業成績を上げ

県内でも大規模な中古車販売イベントの企画参加を任されるまでに会社の信用を得る



同僚のやっかみ？ そりゃありますよ

そう云うのが嫌で独立起業を決意したんですから

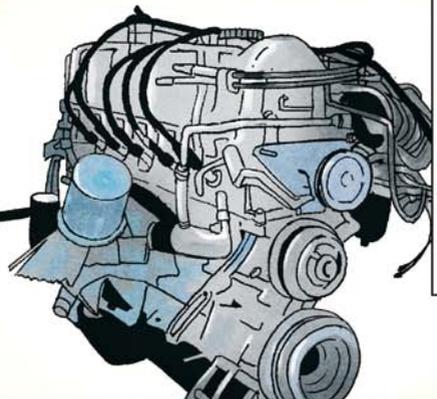


死んじまおう

かけるように、それに追い打と
親戚が行方不明となり、借金の保証人に
の返済どころか社員への給料を払う余裕もない時にで
……。どうして、どうしてこうなった。もうい
超えていた。お世辞に信用され
ないし……。

もう……
限界だ……

池本は会社存亡をこの廃車パーツの販売に賭ける



そしてこの賭けに池本はナプロフクシマは勝つのだった

池本が特に力を入れたのがPR方法



業界では珍しかった車雑誌での広告、インターネット、ファックスDM攻勢をかけたところ予想以上の反響があり

解体作業のための工場も建設し受注と売上は大幅に伸びた



部品情報のオンラインネットワークにも加入



解体パーツの再利用がリサイクルとして国に認められ



更に鉄の単価が上がったことも追い風となった*

*廃車からは鉄材も取れる

死ねませんでしたねえ



死ねませんよね……

その後池本と社員会社一丸となつての営業努力が実を結び業績も僅かではあるが回復の兆しを見せる



そんな折飛び込んで来たのが



廃車回収の依頼であった

当時業界では廃車はコストだけが掛かり



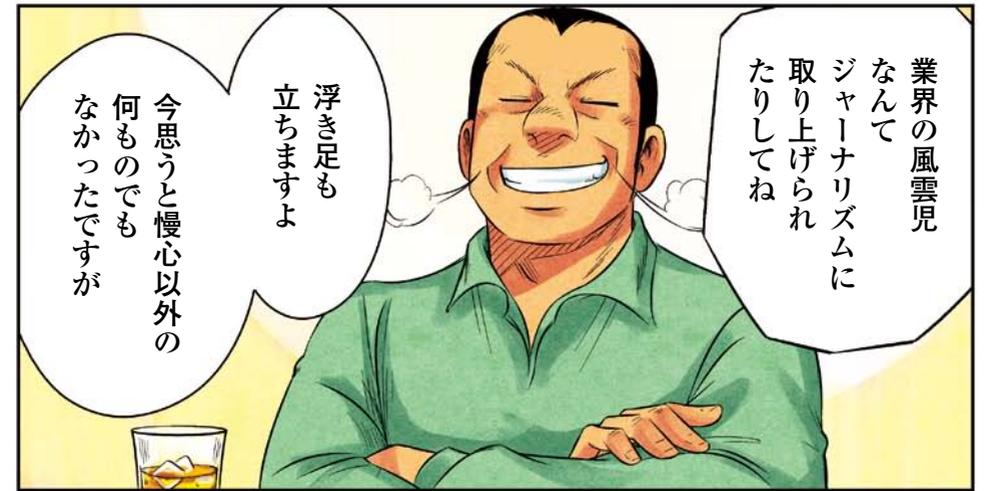
儲けの少ないものと敬遠されていた

そこでひらめいたんですよ

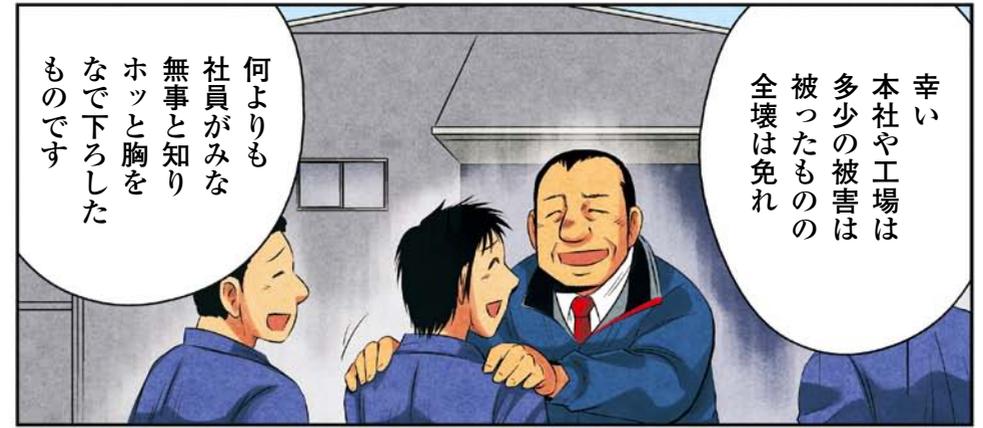


他社がやらない分、うちがやったら廃車パーツを一気に集められるんじゃないかとね

ポーン



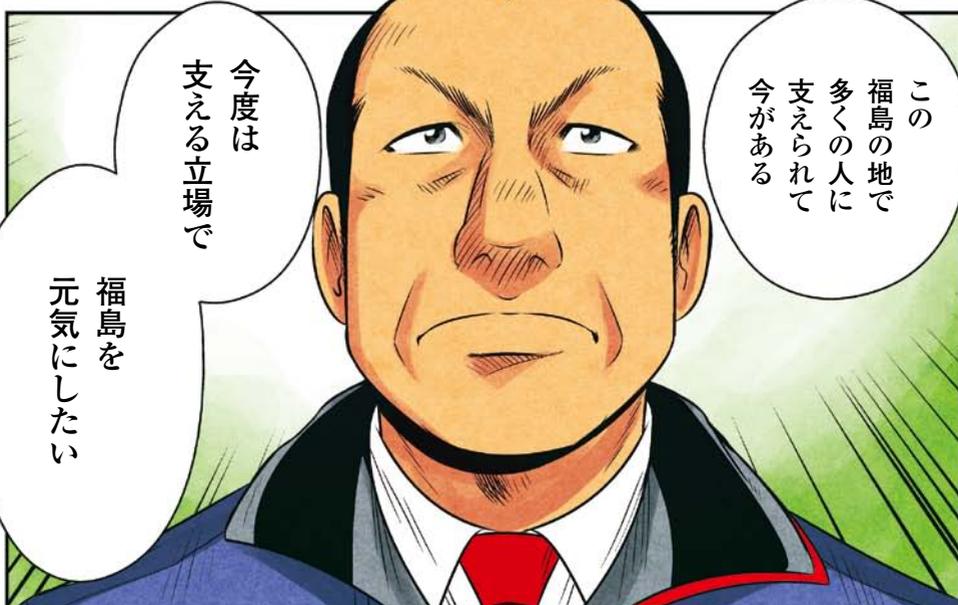






人は人に
助けられるん
ですね

だから
僕達も
微力ながら
物資運搬の
お手伝いを
させてもらい
ました



この
福島ので
多くの人に
支えられて
今がある

今度は
支える立場で

福島を
元気にしたい



震災直後は
食料や
生活必需品
ガソリンは
全く
手に入らず

事務所には
ボールペン一
無の状態

でも
僕や社員達の
事業再開に
かける熱気が
冷めることは
なかったね



その上
有り難いことに
^{※注2}同業他社
からの
手助けも
受けましてね

生活物資や
ガソリンを
運んで来て
くれたんですよ



うちが
^{※注2}事業拡大に伴い
付き合いを
切ってしまった
業者の人達が
ですよ

これにも
僕は涙が
出ました

全く穴が
あつたら
入りたかつた
ですよ

※(注2) ご縁は宝 商売は縁。縁を大切にしない人は成功しない。出逢いは一期一会。接客には最善を尽くす。(経営方針 5)



皆様から
感謝される
会社を
目指すと
社員や
お客様の前で
熱く語った

そして
通常業務に
おいても
※注3
この福島を
イキイキと
させ



人の為とか
人の和なんて



今回の震災で
被災しなきゃ
こんな気持ち
には
ならなかった
かも
しれませんね

そう笑って
池本は
何杯目の
水割りを
飲み干した



これは
「和」と「結」の
精神を表して
いると云う

(株)ナプロアースの
シンボルマークには
若草色の大地と
瑠璃色の水が
用いられている



復興が
遅々として
進まぬ中で
社名を
「ナプロアース」
と変更した
新社屋の
落成式が
盛大に
執り行われた

池本と
社員達の
事業再開の
熱き想いが
実を
結んだのは
震災から
8ヶ月後



もし
もう一度
どこかで震災が
起きた際には
真っ先に
駆けつける
企業になる

そこで池本は
今回の震災で
皆々様から
受けた恩を
決して忘れない

※(注3) 私たちは、地域社会をイキイキさせることで、皆さんから感謝される会社を目指します。(経営理念 4)

最後に池本は
今は穏やかな
福島の海の
前に立ち
こう云った

この海が
僕達の
価値感、
人生感を
変えた

でも
ただ一つだけ
変わらなかった
ものがある





俺の人生
色々あったなあ

池本篤は事業と震災を通して、さまざまなことを感じ、学んできた。
すべては『自分がしてほしいことを人にすること』という根本思想に繋がっている。

涙を流すほどお客様を感動させること。
それが売上を上げる秘訣だ。

社員教育も子育ても基本は一緒。
どちらも「人を育てる」ということなんだから、
違うほうがおかしい。

独立したらすべてうまくいくと思っていたのは間違いだった。
だが、失敗したからこそ学べたことがある！

古い体質の業界を変える！

他社がやっていないことに挑戦しなくては、
オンリーワンにはなれない。

会社に対して不満ばかり抱いているようならさっさと転職すべし。
それが、会社のためであり、自分のためでもあるんだ。

**しつかり数字を上げる。
それがプロだ。**

まずは基本を徹底的に学べ。
基本も身につけず応用しようとするれば、
必ず「破壊」が起る。

**協力会社あつてのナプロということを忘れるなかれ。
協力会社もお客様と同じように接するべし。**

部下に好かれようと部下に媚びる上司は最悪だ。
その背中を見て、部下が憧れるような上司になれ。

人を喜ばせることばかり考えるようにしていたら、自然と不満なんてなくなるものだ。

損得だけで商売してて何になる？

商売は善悪を判断しながら
やっていくものだ。

「ありがとう」は人に好かれるようになる魔法の言葉。
どんなことにも素直に
「ありがとう」が言える人になろう。

仕事があつて、目標がある。それで生きていける。

**ナプロマンならモラルを守つて、
地球環境も守るんだ！**

叱ってくれる人は大切にしなければならぬ。
叱るということは、真剣に考えてくれている
ということなんだから。

**自分にして欲しいことを人にする。
継続すれば、それが感動につながる。**



1996年創業

産業廃棄物収集
運搬許可取得



ホームページ開設

インターネットショップ部門をオープンし、本社も原町市から双葉郡浪江町に移転した。



ナプロNZ設立

ニュージーランドにナプロNZを設立した。全自動車メーカー認可を取得した。

ナプロSAMOA設立



1996年



ナプロフクシマ誕生

福島県原町市に有限会社ナプロフクシマを設立。5月には双葉郡浪江町にショップ兼事務所をオープンした。

1998年

2000年

2001年

2002年

本社に第一大型倉庫完成

第一種フロン類回収業認定

原町市に第二工場完成

2004年

特定非営利活動法人NPO法人
RUMアライアンス 理事に就任

2006年

雇用創出のための人材派遣会社
株式会社プログレス設立

2008年

2009年

2010年

2011年

東日本大震災

3月11日、福島県を襲った東日本大震災により、浪江の本社を移転した。従業員の大半が避難のため退職。

24時間テレビ「愛は地球を救う」へ出演



ナプロアースの歩み

ナプロアースは廃車のリサイクル業務を通し、地球環境の悪化を食い止めるよう努めてきました。そして今後も美しい地球、すばらしい環境を次世代に残すべく業務に励んでいきます。

2003年



ホットガレージオープン

パーツショップのホットガレージをオープンした。3月にISO14001認証を取得。福島県より経営革新の承認も受ける。



廃車ドットコムスタート

全国自動車買い取りネットワークの「廃車ドットコム合同会社」を設立し、池本篤が代表理事に就任した。

2007年



社名をナプロアースに

本社を福島県の伊達市に移転し、社名をナプロアースに変更して再スタートした。

2012年



そして
未来へ

経営理念

- 1 私たちはリサイクル事業を通して、
奇跡の星「地球」の環境、人類、社会を守り、
次世代に継承していきます。
- 2 私たちは、「和」の精神を大事にします。
①「結」の精神：お互いに助け合う互助の精神
②「大和」の精神：大きな和、世界・地域・社員同士が支え合う、
思いやりのある精神
- 3 私たちは、「武士道」の精神を基本にします。
基本に忠実であり、向上心を忘れず、任務を全うする
高いプロ意識の精神で仕事に臨みます。
- 4 私たちは、地域社会をイキイキさせることで、
皆さんから感謝される会社を目指します。
- 5 私たちは、楽しく働ける会社になります。
縁を大切にし、正直に仕事をすれば、人格が磨かれ、
仕事に生きがいと誇りを感じられるようになる。
そして、心豊かな暮らしを実現します。
- 6 私たちは、恒久的な企業となるために、挑戦の意識を持ち続けます。
家族や子供たちが希望に満ち、
後輩たちが私たちと共に働きたいと希望する企業となるために、
現状に満足せず、今より良い会社に育てていきます。

